

アイリッジ [3917・100 株]
7月16日 東証マザーズ市場上場

2015年6月26日(金)
更新: 11時4分
株式会社フィスコ

「O2O」支援のマザーズ小型案件

投資スタンスと初値メド

ブックビルディング参加	——
初値投資	——
初値メド	——

市場の注目度	★★★
想定仮条件レンジ	1000円～1300円
予想PER	39.1倍～50.8倍
予想トレーディングレンジ 期間: 上場後1年を想定	2000円～4000円
予想PER	78.1倍～156.3倍

※★印は5段階評価

日程

仮条件提示	6月29日
ブックビルディング期間	6月30日～7月6日
公開価格決定	7月7日
申込期間	7月8日～7月13日
払込日	7月15日
上場日	7月16日

類似会社 3社

平均PER	55.5倍	→	1,421円
オプトHD<2389>	69.7倍(連)	→	1,784円
ショーケースTV<3909>	63.1倍	→	1,615円
モバファク<3912>	33.7倍	→	863円

(PERは6月25日現在の会社側予想ベース)

スマートフォンをプラットフォームとしたO2Oソリューション「popinfo」の提供、集客・販促向け企画提案・運用等を手掛ける。popinfoは300のアプリに導入されており、当該アプリの利用ユーザー数は2,150万人を超える。導入事例としては「ジーユー」「東京急行電鉄」などの大手企業が挙げられている。

インターネット関連のマザーズ小型案件である。モバイル端末の普及で、新たな集客手法として「O2O」が注目を集めていることも同社の人気を押し上げそうだ。

公開規模については5億円弱となる見込みで、マザーズ案件としても小型に位置付けられる。ベンチャーキャピタル保有比率は36.1%と高いが、同社上場の前後は1週間程度IPOがない。

アイリッジ [3917・100 株] 7月16日 東証マザーズ市場上場

2015年6月26日(金)

更新: 11時4分

株式会社フィスコ



新規公開株レポート

業績推移 (百万円・%)						
決算期	売上高	伸び率	経常利益	伸び率	純利益	伸び率
2011/7	49	—	▲ 1	—	▲ 2	—
2012/7	86	75.4%	▲ 17	—	▲ 17	—
2013/7	257	198.2%	21	—	21	—
2014/7	478	86.2%	27	27.9%	17	-20.1%
2015/7 予	733	53.1%	105	279.0%	69	292.8%
2015/4 3Q	531	—	89	—	58	—
予想 EPS/配当	単独: 25.60 円(上場時発行済株式数で試算) / -円					

業績コメント

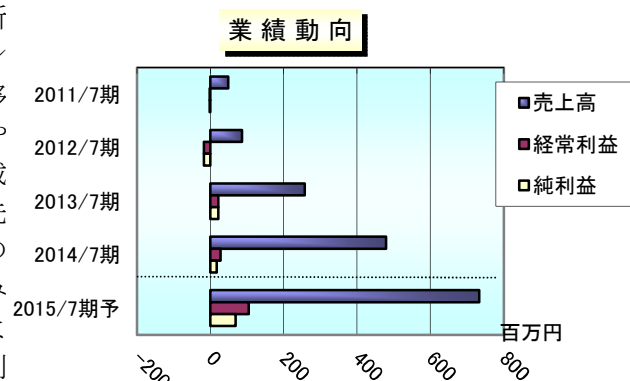
2015年7月期の業績は、売上高が前期比 53.1%増の 7.3 億円、経常利益が同 279.0%増の 1.0 億円と増収増益の見通しとなっている。

〇2〇を取り巻く足元の環境は、企業の〇2〇への関心や注目も高まり、販促や集客につながる施策を強化する動きが広がっている。

このような状況のなか、同社は、既存取引先へのコンサル(ユーザー数拡大・ユーザーとのコミュニケーション強化等を目的としたアプリ内企画の提案、ユーザー利便性の向上や新機能の追加等に関するコンサル)やそれに伴う追加開発の実施、新規取引先の獲得により、アプリ開発・コンサル等に関する同社の売上が順調に推移した。また、月額報酬(popinfo 利用料や保守料金等)についても、popinfo を搭載した新規アプリのリリースや、既存取引先への上記コンサル等によるユーザー数の拡大により、ストック型の安定収益の積み上げに努めた。このような取り組みにより、同社の popinfo を搭載したアプリの利

用ユーザー数は、2015年3月に 2,000 万ユーザーを超え、順調に推移している。

なお、通期計画に対する第3四半期末時点における進捗率は、売上高 5.3 億円で 72.4%、経常利益 0.8 億円で 84.8%となっている。



銘柄紹介

アイリッジ [3917・100 株] 7月16日 東証マザーズ市場上場

2015年6月26日(金)
更新: 11時4分
株式会社フィスコ



新規公開株レポート

基本概要	
所在地	東京都千代田区紀尾井町
代表者名(生年月日)	代表取締役社長 小田健太郎(昭和50年6月23日生)
設立	平成20年8月29日
資本金	1億9162万円(平成27年6月11日現在)
従業員数	31人(平成27年4月30日現在)
発行済株式数(上場時)	2,695,000株(予定)
公開株式数	公募250,000株 売出80,000株 (オーバーアロットメントによる売出49,500株)
想定公開規模	3.8億円~4.9億円(OA含む)
事業内容	スマートフォンをプラットフォームとしたO2Oソリューション「popinfo」の提供、集客・販促向け企画提案・運用等

売上高構成比率(2014/7期実績)		
品目	金額	比率
O2O関連:月額報酬	122 百万円	25.7 %
O2O関連:アプリ開発、コンサル等	338 百万円	70.7 %
その他	17 百万円	3.6 %
合計	478 百万円	100.0 %

幹事証券団(予定)			
	証券会社名	引受株数	引受シェア
主幹事証券	野村證券(株)	未定	未定
幹事証券	みずほ証券(株)	未定	未定
幹事証券	大和証券(株)	未定	未定
幹事証券	(株)SBI証券	未定	未定
幹事証券	エース証券(株)	未定	未定
幹事証券	マネックス証券(株)	未定	未定
幹事証券	岩井コスモ証券(株)	未定	未定
幹事証券	極東証券(株)	未定	未定
幹事証券	東海東京証券(株)	未定	未定

銘柄紹介

アイリッジ [3917・100 株] 7月16日 東証マザーズ市場上場

2015年6月26日(金)
更新: 11時4分
株式会社フィスコ



新規公開株レポート

大株主上位10位

順位	株主名	保有株数	保有シェア
1	小田 健太郎	1,300,000 株	47.85 %
2	株式会社DGインキュベーション	510,300 株	18.78 %
3	みずほキャピタル第3号投資事業有限責任組合	240,000 株	8.83 %
4	三菱UFJキャピタル3号投資事業有限責任組合	150,000 株	5.52 %
5	株式会社エヌ・ティ・ティ・データ	130,000 株	4.79 %
6	KDDI新規事業育成投資事業有限責任組合	52,700 株	1.94 %
7	株式会社クレディセゾン	30,000 株	1.10 %
7	TBSイノベーション・パートナーズ1号投資事業組合	30,000 株	1.10 %
9	黒瀬 翼	1,000 株	0.04 %
9	英 一樹	1,000 株	0.04 %
合計		2,445,000 株	89.99 %

その他情報

手取金の使途	(1)サービス強化・拡充のための開発費用、(2)サーバー等のインフラ費用、(3)人材採用費、(4)オフィス移転費用、(5)広告宣伝費・販売促進費、(6)国内外の提携等のための資金に充当する予定。	
関係会社	-	
VC売却可能分(推定)	-社 -株(売出し・保有期間などの制限があるもの以外)	
直近有償第三者割当	年月日	2014年7月25日
	割当先	株式会社クレディセゾン、TBSイノベーション・パートナーズ1号投資事業組合、黒瀬 翼、英 一樹
	発行価格	1,000円 ※株式無償割当を考慮済み

銘柄紹介

アイリッジ [3917・100 株]
7月16日 東証マザーズ市場上場

2015年6月26日(金)

更新: 11時4分

株式会社フィスコ

銘柄紹介

同社は、O2O（オンライン to オフライン。インターネットから実店舗への集客・販促につなげる）ソリューションの提供、集客・販売促進等を中心とした企画・運用支援を行い、企業のO2Oを支援している。スマートフォンを利用したO2Oとして、自社ソリューションを組み込んだスマートフォンアプリ（以下「アプリ」）を通じて消費者に情報を提供し、実店舗への集客や販売促進に繋げている。

効果的なO2Oのためには、情報を効果的に伝えること、来店・購入したくなる魅力的な情報を発信することが重要となる。

同社は、2009年より企業向けにO2O支援を行っており、ソリューション面（技術面）だけではなく、集客・販売促進のための企画・ノウハウを蓄積してきた。ソリューション提供に加え、効果的なO2O実現のための企画・運用支援を統合的に手掛けていることが特徴・競争力である。

O2Oソリューションのプラットフォームとしては「popinfo」を提供している。popinfoは、同社の中核ソリューションであり、企業の集客・販売促進に必要な情報配信機能、ユーザー管理機能、会員証機能、ポイント管理機能、クーポン管理機能といった基本機能を備えている。企業は一般ユーザー向けに提供するアプリに popinfo を組み込むことで、当該アプリをダウンロードしたユーザーの携帯待受画面に情報を配信することができる。

popinfo の配信内容としては、集客や販売促進を目的とした商品情報、新店舗情報、割引クーポンの配付等にとどまらず、観光スポット情報、災害・遅延情報、株・為替といったマーケット情報の発信等にも利用されており、様々な情報を提供することが可能である。

また、情報配信機能、ユーザー管理機能のほか、会員証機能、ポイント管理機能、クーポン管理機能を備えているため、企業・ユーザーにとって、必要な情報や機能をアプリに一元化することができる。例えば、プラスチックカードの会員証・ポイントカードにかえて、ユーザーはアプリを会員証として利用でき、アプリ内でポイントを貯め、利用することができる。

popinfo のサービス利用料は利用ユーザー数に応じた従量制としており、当該 popinfo 利用料とアプリのシステム保守料等を月額で企業より収受している。これに加え、popinfo を組み込んだアプリ開発やアプリ機能追加に伴う開発収入、O2O 企画・運用支援に伴うコンサルティング収入等を主な収入としている。

同社の popinfo はショッピングを中心とした商業施設だけでなく、企業とエンドユーザーのコミュニケーション・ツールの一つとして活用されており、スマートフォン等を介したモバイル・コミュニケーションに積極的に取り組んでいる金融機関、交通機関、エンタメ・メディア等をはじめ、幅広い業種で導入されている。

2015年4月末現在で popinfo を組み込んだアプリの利用ユーザー数は 2,154 万人、アプリ数は 300 となっている。

アイリッジ [3917・100 株] 7 月 16 日 東証マザーズ市場上場

2015 年 6 月 26 日 (金)
更新：11 時 4 分
株式会社フィスコ



新規公開株レポート

投資のポイント

インターネット関連のマザーズ小型案件である。6/25 までに上場した 6 月 IPO 案件のうち、公開規模が 10 億円未満のインターネット・IT 関連案件では、スマートバリュー<9417>が公開価格比+344.9%、マーケットエンタープライズが同+167.0%、デジタル・インフォメーション・テクノロジー<3916>が同+246.2%という高い初値パフォーマンスを見せており、同社についても期待が高まるだろう。モバイル端末の普及で、新たな集客手法として「O2O」が注目を集めていることも同社の人気を押し上げそう。

込みで、マザーズ案件としても小型に位置付けられる。同社上場の前後は 1 週間程度 IPO がない。ベンチャーキャピタル保有比率が 36.1%と高く、ロックアップが除外される公開価格の 1.5 倍高からは需給不安が強まる可能性もあるが、足元の IPO 人気の高さを考慮すれば売り物をこなすことは十分に可能とみる。

同社は、O2Oソリューションのプラットフォームとして「popinfo」を提供している。popinfo は 300 のアプリに導入されており、当該アプリの利用ユーザー数は 2,150 万人を超える (2015 年 4 月末時点)。導入事例としては「ジーユー」「東京急行電鉄」「三菱東京 UFJ 銀行」などの大手企業が挙げられており、こうした実績が評価材料となるだろう。また、O2O企画・運用支援を継続的に実施することで、安定収益の確保に繋げている点もポジティブ視されそう。

業績面について、2015 年 7 月期は売上高が前期比 53.1%増の 7.3 億円、経常利益が同 279.0%増の 1.0 億円と増収増益の見通しとなっている。収益規模はまだ小さく、現在は拡大期にある。想定仮条件水準の今期予想 PER は 39~51 倍で、類似企業と比較して妥当な水準と言える。

公開規模については 5 億円弱となる見

銘柄紹介

アイリッジ [3917・100 株] 7月16日 東証マザーズ市場上場

2015年6月26日(金)
更新: 11時4分
株式会社フィスコ



新規公開株レポート

投資スタンスの見方

Aggressive (アグレッシブ)	積極的参加	投資収益率 100%以上が見込まれる案件
Active (アクティブ)	やや積極的参加	投資収益率 50%以上が見込まれる案件
Passive+ (パッシブ・プラス)	やや消極的参加	投資収益率 20~50%未満が見込まれる案件
Passive- (パッシブ・マイナス)	消極的参加	投資収益率 0~20%未満であり、マイナスの可能性がある案件
Negative (ネガティブ)	参加見送り	投資収益率がマイナスになる可能性が予想される案件

《 重要事項(ディスクレマー) 》

株式会社フィスコ(以下[フィスコ]という)は株価情報および指数情報の利用について東京証券取引所・大阪取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。

“JASDAQ INDEX”の指数値及び商標は、株式会社東京証券取引所の知的財産であり一切の権利は同社に帰属します。

掲載される情報はフィスコが信頼できると判断した情報源をもとにフィスコが作成・表示したものです。その内容及び情報の正確性、完全性、適時性について、フィスコは保証を行っておらず、また、いかなる責任を持つものではありません。

本資料に記載された内容は、資料作成時点において作成されたものであり、予告なく変更する場合があります。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、事前にフィスコへの書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物に修正・加工することは堅く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは堅く禁じられています。

フィスコが提供する投資情報は、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。

本資料に掲載される株式、投資信託、債券、為替および商品等金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少する事もあり、価値を失う場合があります。

本資料は、本資料により投資された資金がその価値を維持または増大する事を保証するものではなく、本資料に基づいて投資を行った結果、お客様に何らかの損害が発生した場合でも、フィスコは、理由のいかんを問わず、責任を負いません。

フィスコおよび関連会社とその取締役、役員、従業員は、本資料に掲載されている金融商品について保有している場合があります。

投資対象および銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

株式会社フィスコ

■ 本資料のご留意事項

本資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。銘柄の選択、投資判断の最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

本資料は、SBI証券が、株式会社フィスコが信頼できると判断して作成したレポートを有償で提供を受けておりますが、その正確性、安全性等について保証するものではありません。本資料に掲載された意見は、作成日における判断であり、予告なしに変更される場合があります。

本資料の著作権、知的所有権等一切の権利は株式会社フィスコに帰属しますので、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

■ 手数料およびリスク等について

国内株式取引の手数料

・株式取引にあたっては、所定の手数料がかかります（手数料はお客様の取引コース、取引チャネル、取引プランや売買代金等により異なることから記載しておりません）。詳しくは、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は上場有価証券等書面等をご確認ください。

国内株式取引のリスク情報について

- ・国内株式の取引は、株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- ・信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、時として多額の損失が発生する可能性を有しています。
- ・信用取引の対象となっている株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、その損失の額が、差入れた委託保証金額を上回るおそれがあります。

留意点

- ・取引コースや商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、ウェブサイト、等をよくご確認ください。または最寄の支店までお問い合わせください。
- ・最終的な投資判断は目論見書の内容をご確認ください。目論見書は当該銘柄の取扱証券会社のホームページ等で入手いただけます。

商号等：株式会社SBI証券 金融商品取引業者

登録番号：関東財務局長（金商）第44号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、
一般社団法人 第二種金融商品取引業協会